



2008年度重点施策

2008/5/16

重点項目

1. 認定取得者へのサービス向上(組織化)
Webを通じた組織化
2. モデリング普及事業:
大学でのUML教育支援(大学連携)
3. 認定事業・海外連携事業:
認定試験の充実
4. 他団体との連携強化



1. 認定取得者へのサービス向上

* WEBサイトのリニューアル

現状Webサイトの課題 ・閲覧ユーザー(一般、会員、認定取得者)に対して発信したいコンテンツが不明確、 ・どこになにがあるか分からない、 ・情報の鮮度がない、更新が少ない ・システムのメンテナンスが技術的に困難	目的 ・発信したい情報の明確化、 ・ユーザビリティの向上 ・掲載情報の鮮度の向上	効果 ・受験者、会員の来訪増 ・認知度UP 目標 ・PageView数 50%UP ・新規コンテンツ数30%UP ・News掲載頻度 100%UP
--	--	---

* 認定取得者の組織化

- ー 認定取得者へのサービス向上を目的に、それぞれのレベルのコミュニティを作る
- ー 体験談書き込み、Web上での研究会開催、セミナー無料参加などを提供
- ー



2. モデリング普及事業の推進(1)

・学生の認定試験受験者の確保

受験者数 08年度 200名

・認定試験の知名度向上

学生の受験状況

- ・07/6までアカデミック価格(¥10,000)を設定していたが、月2, 3名程度
- ・受験料が高い、UML教育不足

新たな試験のフレームワークが必要

* 大学へのUML教育支援と認定試験の実施

- ー 地方自治体/外郭団体のIT人材育成活動の中で学生へのUML教育を支援
支援のフレームワーク(TBD)
- ー 会員企業は、教材、トレーナーを有償/無償で提供
- ー UMTPは、認定試験、対策セミナーを提供
- ー UML教育を受けた学生に特別価格での認定試験を提供
外郭団体が試験センターとなり、低料金の試験を実施
- ・NPO ドットNET分散開発ソフトピア・センター(岐阜)が主体となり、IT人材育成
UMTPは認定試験と対策セミナー等で協力
ソフトピア・センターが試験センターとして試験実施
- ー他地方への展開(九州、新潟など)



2. モデリング普及事業の推進(2)

* UMLモデリング事例集出版の支援

- ー UMTP会員を中心に事例集
「UMLモデリングCase Study Book」を会員企業が作成
、UMTPは会員紹介とその費用の一部を支援。
- ーコンテンツを事例セミナー、WEB掲載に活用
- ー書籍を会員企業に配布、
モデリングフォーラムやセミナーで配布/販売

No.	カテゴリー名	回答数	%
1	技術情報等を、より多く提供してほしい	606	49.0
2	国内でのセミナーや講習会等を、より多く開催してほしい	349	28.2
3	認定資格者どうしが、情報交換できるような環境(コミュニティ)を設けてほしい	247	20.0
4	UMLモデリング技術を有効に活用している企業や、活用事例等を紹介してほしい	696	56.3
5	特になし	203	16.4
	不明	1	0.1
	全体	1237	100.0
	(累計)	2102	169.9

2007/10アンケートより

・Modeling Forum 2008の開催

- ー08/9/17,18 品川コンファレンスセンター
- ーテーマ: 「SaaS時代のアーキテクチャとモデリング」

・UML JIS化成立



3. 認定事業・海外連携事業の拡充(1)

* 認定試験の完成へ向けて

- ーL3試験の実施(4/21より)
 受験者数 08年度 200名 (L2認定者数1300名)
 対策セミナー開催、会員企業への働きかけ、合格者の組織化
- ーL3試験の改善とバージョンアップ
 L3試験モニターの実施、試験問題の追加開発
- ーL2試験のインターフェース改善
- ーL4試験実施に向けての実現方針の検討: L3合格者も参加

認定試験の課題

- ・L3,L4が未実施
- ・L3試験問題数、妥当性検証が不十分
- ・L2試験インターフェースへの不満(アンケート等)
- ・認知度不足

・受験者の裾野の拡大

- ーL3試験実施によるL2,L1受験者数増
- ー意欲的な企業への認定試験の展開(NEC殿方式の採用):
- ー学生への低料金の試験の実施: ベトナム・中国での方式の採用
- ーL1対策セミナーの開催: L1受験者数の増加と試験への認知度向上
- ー認定取得者用サイトの立ち上げ、取得者向け情報発信



3. 認定事業・海外連携事業の拡充(2)

・中国・ベトナム認定試験の拡大

- ー英語、中国語版 L2試験配信開始
- ーパートナーによる中国諸都市での試験実施拡大
- ーベトナム試験本格実施とパートナー組織化支援
- ー普及セミナー開催(ベトナム、中国)

・オフショアソフトウェア開発へのUML適用の推進

- ・受託側アンケート結果を取り入れたUML適用ガイドラインのバージョンアップ
- ・オフショア開発でのUML普及のポイント調査の実施と分析のまとめ



4. モデル共有促進事業の推進

- ・他団体との連携強化
 - ― 共同分科会・研究会の立ち上げ
 - 例 ・SCMモデリング分科会
 - ・組み込み分野
- ・部会・分科会活動
 - ― 保険業務モデリング分科会：
 - ・ドメイン固有のモデルを作成し、共有を促す
 - ・保険契約管理プロセスのモデルを作成、その利用を促進。
 - ― BPMN分科会： BPMNモデリングガイドラインの作成
 - ― モデルベースアーキテクト分科会： 育成ガイドブックの作成



補足 学生へのUML教育支援スキーム

産官学連携IT人材教育スキーム

- 地域産業活性化、ソフトウェア産業育成
- 人材育成への危機感



